

4) その他



国土を**整**え、全力で**備**える

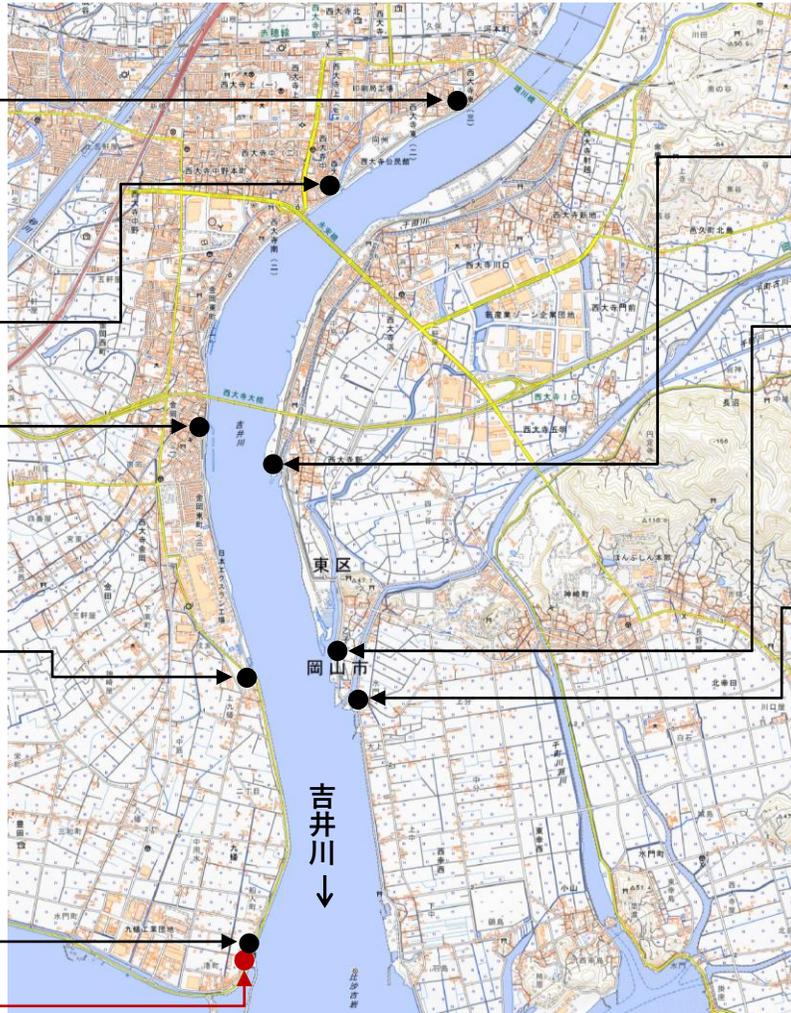
国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

吉井川下流に現存する常夜灯について

- 吉井川下流の沿川には、**主要な常夜灯として9箇所(10基)が現存**。江戸時代から明治時代にかけて設置されたものが多く、**航路の安全対策**や**船渡しの目印**などを目的として利用され、**高瀬舟の往来**があった**昭和初期まで利用**されていた。
- これらの常夜灯は、**複数の常夜灯が対で機能**していたものもあり、**常夜灯群として現存**していることで、**歴史的な価値が高いもの**となっている。

<吉井川下流に現存する常夜灯の位置図>



※工事前(解体保管中)

吉井川下流に現存する常夜灯について

<吉井川下流に現存する常夜灯の施設状況等>

名称	旧九幡港常夜灯	九幡常夜灯	十番常夜灯	金岡湊常夜灯	(西大寺観音院)	(河本)	(祇園神社内1)	(祇園神社内2) 旧乙子常夜灯	乙子常夜灯	牛窓往來の舟渡し
施設状況 (現況写真)										
設置時期	幕末～明治初期 (推定)	明治6年 (1873年)	寛政6年 (1794年)	文化2年 (1805年)	文献等 記載なし	天保7年 (1836年)	文政7年 (1824年)	文政10年 (1827年)	明治7年 (1874年)	不明
文化財登録 近代土木遺産	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
県近代化遺産	○	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	○	指定なし
修復状況	・昭和21年、平成2年、修理復元。 ・令和3年度より、堤防強化工事のため解体保管中。	・堤防整備に伴い移設。	・堤防整備に伴い移設。	文献等 記載なし	文献等 記載なし	・堤防整備に伴い移設。	・堤防整備に伴い移設。	・堤防整備に伴い移設。	・堤防整備に伴い移設。 ・宝珠は鳥取県西部地震(平成2年)で所在不明になったため、新たに復元。	・堤防整備に伴い移設。
時代背景	・旧九幡常夜灯と幸島外波及び小串の灯籠の3箇所が相対して、瀬戸内海から児島湾・吉井川への航路を示していた。	・旧乙子常夜灯と対で機能し、吉井川の航行の安全、牛窓街道南回りの乙子渡しの目印とされていた。	・江戸時代から昭和初期まで蔵元のあった金岡湊は高瀬舟の寄港により賑わった。	文献等 記載なし	文献等 記載なし	文献等 記載なし	・十番常夜灯と対で機能し、吉井川の航行の安全、牛窓街道南回りの乙子渡しの目印とされていた。	・漁業者が出資してつくった魚類の販売会社「聚鱸社」が乙子地区の魚類買い集め舟の目標として造られたものと考えられている。	・舟渡し(牛窓街道)の目印。	

- ・括弧書きの名称は、固有名称が不明のもの。
- ・十番常夜灯の時代背景は“九幡を歩いてふるさとの文化遺産を知ろう(岡山市ウェブサイト)”を参考。
- ・旧乙子常夜灯と乙子常夜灯の時代背景は、地元聞き取りによる。